乳頭異常分泌に対する検査

乳頭異常分泌とは、授乳期以外にみられる乳頭分泌のことです。その原因は、機能性、薬剤性、炎症、乳腺症、腫瘍と多岐にわたりますが、最も注意が必要なのは乳がんの存在です。

乳頭異常分泌がみられた場合、両側か片側か、単孔性か多孔性か、性状などを診察します。特に、漿液性・血性分泌の場合には注意が必要です。また、向精神薬や胃薬などの内服がないか、あるいは高プロラクチン血症などの可能性がないか診察します。

検査としては、マンモグラフィ・乳房超音波の他に、分泌物細胞診・分泌物 CEA 測定・MRI・乳管造影・乳管内視鏡などの検査を検討いたします。

診断の結果、良性であれば経過観察、悪性であれば手術などの治療を検討いたします。